

平成30年度

事業報告書

公益財団法人豊田都市交通研究所

## 平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### ◀ 事業概要 ▶

平成30年度は、当研究所の中期ビジョンに基づき、研究の2つの方向性と1つの重点課題である「暮らしを支える交通」、「都市空間を創出する交通」、「交通の安全・安心」について、当初の事業計画より18件増の38件の研究事業を実施しました。中でも、高齢運転者に着目した安全運転や交通事故低減に寄与する研究、自動運転導入の在り方や新たな地域交通の提案など、重要かつ先駆的な研究所ならではの研究を実施しました。

自主研究では、高齢運転者の増加を考慮した安全・安心なモビリティ実現を目指した研究、地方都市における自動運転導入のロードマップ提案、自転車の走行空間整備過渡期における道路施策の在り方に関する研究、都心の課題を人の活動と意識から考える研究、高齢運転者を対象とした後付け型ADASの多様な効果に関する研究、交通安全に係るビッグデータを活用するためのデータプラットフォームの構築など13件を実施しました。

受託研究では、鞍ヶ池地域タクシー実証実験の評価と新地域での実証実験計画策定、歩行者保護施策の検討、道路ネットワークを賢く使う愛知モデルの検討、立ち乗り型パーソナルモビリティの規制緩和を目指した実証実験の運営支援・評価、愛知県「三位一体」対策の提言の実現に向けた取組支援、高齢者の交通安全対策グランドデザインの策定など25件を実施しました。

報告会・セミナーでは、当研究所の「年度研究成果の報告会及び講演会」の開催や市民等との活発な意見交換を行った「豊田まちと交通勉強会（まちべん）」を11回開催した他、「空間計画と持続可能な開発（SPSD）に関する国際ワークショップ」等を開催しました。

研究成果の論文発表は、学術誌や学会等で43件行いました。また、これらの論文発表以外に、国内外において各種講演を34回行うとともに、地域の交通対策を検討する地元協議会や交通に関する自治体組織への参加など社会貢献にも取り組みました。

資料発行事業では、当研究所が実施した事業内容を市民に対して幅広く知ってもらうために、機関紙「まちと交通」（63～66号）、「豊田都市交通研究所年報 平成30年度版」等を発行しました。

また、これらの研究活動や成果を的確に評価、フィードバックし、研究の更なる充実を図るとともに、市長報告会を試行的に実施し、「高齢者の交通安全を念頭に置いたADAS普及促進策」、「横断歩道での歩行者保護意識向上を目指した取組」について、政策提言しました。

## 《 公益目的事業 》

### 1 調査研究（自主研究事業13件、受託研究事業25件）

#### （1）暮らしを支える交通（自主研究事業5件＋受託研究事業6件＝11件）

##### ア 高齢運転者の増加を考慮した安全・安心なモビリティ実現を目指した研究

（自主事業）

平成29年度から2年度にわたる研究として実施しているものです。背景には、超高齢社会における高齢者モビリティの実現が避けられないという課題がある一方、公共交通対策の強化のみでは限界があることも明白です。そこで、高齢者の自動車運転による正の効果（生活の質の向上）を調査し、評価できる仕組みを検討するとともに、高齢運転者による負の影響（交通事故の増加）を分析し、高齢者の属性、低下した能力に応じた支援システムを提案していきます。

平成29年度に実施した「1. 高齢運転者の特性分析」、「2. 既存のADASの効果検証」、「3. ADAS機能のバラツキの分析」、「4. ADASの高齢運転者の受容性評価」、「5. ADASの可能性と限界に関する分析」及び「6. ADAS導入促進策の提案」に続き、平成30年度では、高齢者が苦手とする状況における事故（出合頭事故等）の多発する交差点を抽出し、当該箇所の空間特性についての解析と同時に、高齢運転者に関する免許制度の受容性に関する調査を行った上で、今後の在り方を提案しました。

##### イ 多様な地域を抱える地方都市における自動運転導入のロードマップ提案

（自主事業）

豊田市の住宅団地（五ヶ丘地区）と山村部（旭地区）を対象として、多様な地域を抱える豊田市で、自動運転移動サービス導入に向けた事前準備を検討しました。また、対象地域の現状から導入の必要性や求められる交通システムを示し、導入対象範囲、段階的導入の姿、導入にあたっての各主体の役割、導入に向けた検討の進め方などを提示しました。

##### ウ 豊田市におけるバス機能を考慮した新たなバス評価指標の提案（自主事業）

ICカードの利用者属性情報（定期／定期外、通学／一般等）と照合し、バス停と施設情報とを紐付け、利用目的を推測して集計し、今後新たなバス評価指標とすることを提案しました。

##### エ 地区内道路の課題に関する基礎研究（自主事業）

豊田市の「歩行者保護モデルカー活動」に関連して、停まってくれた人への感謝を表する取り組みを提案して、実施したことについての評価を行いました。

##### オ 地域バスを対象とした効果的なバス利用促進手法に関する研究（自主事業）

豊田市における地域バスの利用促進は、運行されている地域住民に委ねられていますが、十分な効果が出ているとは言えない中、本研究では、保見地域バスにおいて体験乗車会を実施し、その後も継続調査を続け、地域バスの利用促進施策となる可能性を検討しました。

##### カ 鞍ヶ池地域タクシー実証実験の評価と新地域での実証実験計画策定業務委託

（受託事業 豊田市）

鞍ヶ池地域タクシー実証実験の評価に関しては、ヒアリング調査に加え、豊田高

専と共同で山中町の全住民にアンケート調査を実施し、評価を行いました。また、その他地域への横展開として、上郷バスでのタクシー活用実証実験の計画作成支援を行いました。

キ 北設楽郡地域公共交通網形成計画改定支援業務委託

(受託事業 北設楽郡公共交通活性化協議会)

委員として参画しながら、北設楽地域における地域公共交通網形成計画の改定に向けて、計画案を作成しました。

ク 歩行者保護啓発の検討

(受託事業 豊田市)

平成29年度の当研究所の自主研究から得られた知見を踏まえた「立哨活動時の効果的な啓発活動方法」を市長へ政策提言（横断歩道での歩行者保護意識向上を目指した取組み提案）をしたことを受けて、豊田市が手持ちプレートを製作し、立哨活動を実施しました。その効果についても調査を基に確認しました。

ケ 刈谷市バス路線網再編支援業務委託

(受託事業 刈谷市)

刈谷市でバスを運行しているバス事業者、有識者及び刈谷市職員からなる「刈谷市バス路線網再編検討会（仮称）」を立ち上げ、路線バス・公共施設巡回バスの路線網について、利用状況や利用者実態の既存のアンケート調査結果を基に検討しました。

コ 地域公共交通確保維持改善事業における乗合バス事業生産性向上策の評価・検証に関する調査

(受託事業 中部運輸局)

乗合バス事業の生産性向上策について、事例収集をするとともに、施策の進め方や評価・検証方法について検討しました。

サ 若林東町上り戸交差点改良方針検討業務委託

(受託事業 豊田市)

若林駅周辺の区画整理事業において、地域住民が事業推進の条件として提示している当該交差点の改良整備について、当研究所の過年度の自主研究として実施したヒヤリハット調査結果や交通事故データ等を基に交差点の課題を整理し、事業の必要性を整理しました。

(2) 都市空間を創出する交通（自主研究事業5件＋受託研究事業8件＝13件）

ア 自転車の走行空間整備過渡期における道路政策のあり方に関する研究

(自主事業)

自転車走行空間の利用率を推定するモデルを構築し、自転車走行の適正利用を阻害・促進する影響要因を把握しました。また、交通安全学習センターでの自転車講習の実施前後における生徒の自転車走行適正利用意識の変化を調査することで、講習等における効果とその課題を明示しました。

イ 次世代自動車のCO<sub>2</sub>排出量算定におけるビッグデータの活用に関する検討

(自主事業)

車検証統計データで自動車利用特性を反映させた、より現実に近い値が得られる新たなCO<sub>2</sub>排出量算定方法を、自治体ベースで検討しました。

ウ 豊田市都心の課題を人の活動と意識から考える研究

(自主事業)

都心来訪者の意識調査結果から、都心の満足度には、来訪の便利さや魅力的な店

舗、安全で楽しく歩ける美しい街並みなどが影響していることを確認しました。また、長期的な歩行量の分析からは、豊田市駅周辺で長期的に増加する一方、駅から離れた場所では長期的に減少していることを確認しました。そして、歩行量によるイベントの評価からは、Jリーグ試合日は、夜の試合日に比べ、昼の試合日の方が歩行者量の時間的な集中が少ないことを確認しました。最後に、駐車場の利用実態からは、都心全体での駐車場容量は充足していますが、特定駐車場への集中が起きていることを確認しました。これらの結果を踏まえて、人の活動や意識からにぎわい創出に向けた課題を抽出し、対策を提案しました。

エ 交通需要マネジメント関連施策業務 (受託事業 豊田市)

「エコ交通活動の情報共有」及び「エコ交通普及活動の支援」に分けて実施しました。なお、長年の活動実績が評価され、第10回EST交通環境大賞の「奨励賞」を受賞しました。

オ 道路ネットワークを賢く使う愛知モデル社会実験業務委託

(受託事業 一般社団法人愛知県トラック協会)

過年度の自主研究(豊田市における貨物車の走行実態に関する基礎研究)の成果を踏まえて提案した、衣浦豊田道路における有料道路の有効活用実証実験の事務局業務を実施しました。

カ 立ち乗り型パーソナルモビリティ実証実験評価等業務委託 (受託事業 豊田市)

トヨタ自動車の三輪PMを用いて鞍ヶ池公園で実証実験を実施しました。実証実験での走行行動について分析し、交通安全学習センターで利用する等豊田市での活用スキームを検討・提案しました。

キ 人口構成と交通動向を考慮した将来都市構造可視化シミュレーションの開発に関する研究 (自主事業)

(独法)日本学術振興会の科学研究費補助金「研究活動スタート支援」に採択されたもので、平成30年度、31年度の2年間にわたる研究です。平成30年度は、豊田市が目標としている将来推計人口と、人口問題研究所が算出している将来推計人口を参考に構築した100mメッシュ将来推計人口分布から豊田市が将来的に増加させたい人口数について確認しました。

ク 都市機能集約と人口変動を考慮したアクセシビリティの観点からの都市構造評価 (自主事業)

土地利用(施設配置、拠点設定等)と公共交通の連携による住民のアクセシビリティ(利用しやすさ)を評価し、豊田市における利便性の定量化、地域間の格差などの課題を検討しました。

ケ 高橋関連渋滞緩和対策業務委託 (受託事業 豊田市)

平成29年度事業(高橋交通影響調査業務委託)の検討結果を踏まえて、高橋の通行止めを市民に伝えるとともに、交通行動の空間的・時間的平準化を促す広報資料を作成しました。

コ 交差点方向別交通状況調査委託 (受託事業 豊田市)

ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>開催時のシャトルバス運行計画検討及び高橋の通行止めに伴う渋滞対策のため、現在の交通状況を調査しました。

サ シャトルバス運行計画検証業務委託

(受託事業 ラグビーワールドカップ2019愛知・豊田開催支援委員会)

2019年に豊田スタジアムで開催されるラグビーワールドカップ2019™の来場者を輸送するための、スカイホール豊田(ファンゾーン)を拠点としたシャトルバスの運行計画を検証し、関係機関との協議を支援しました。

シ 平成30年度路面公共交通導入検討支援業務

(受託事業 中央復建コンサルタンツ株式会社)

名古屋市の都心への導入が検討されている路面公共交通の需要予測を、過年度の需要予測に対して条件を変更して再計算しました。

ス パーソナルモビリティ市内イベント時活用実証実験業務委託

(受託事業 豊田市)

平成31年3月にスカイホール豊田で開催された「とよたビジネスフェア」時に、ラグビーワールドカップ2019™でのパーソナルモビリティ活用を想定した公道走行の実証実験を実施しました。

(3) 交通の安全・安心(自主研究事業3件+受託研究事業11件=14件)

ア 高齢運転者を対象とした後付け型ADASの多様な効果に関する研究

(自主事業)

本研究では、高齢運転者に実際に後付け型ADASを体験いただく実証実験と、後付け型ADAS利用者等への意識調査を行いました。後付け型ADASの効果が認められたことを受けて、普及策として、運転免許更新時講習等の場を活用したサポカーへの買い替え等を含む後付け型ADASに関する情報発信、体験会や講習会の開催を提案しました。

イ 交通安全に係るビッグデータを活用するためのデータプラットフォーム構築の試み

(自主事業)

国内外の交通に関するデータプラットフォームの最新動向の整理を踏まえ、多様な機関が交通安全に係るビッグデータを共有できるプラットフォームの構築方法を提案しました。

ウ 豊田市の高齢運転者の事故特徴を踏まえた事故対策に関する検討 (自主事業)

高齢運転者の事故・違反特性等を踏まえ、豊田市における高齢運転者による交通事故の低減対策を検討しました。

エ 豊田市交通事故データ調査委託

(受託事業 豊田市)

平成25~29年に豊田市で発生した交通事故実態を整理し、交通安全対策に活用する基礎資料(交通事故データベース、小学校区別マップ)を作成しました。

オ 「とよたの交通事故」作成委託

(受託事業 豊田市交通安全市民会議)

豊田市における平成30年の交通事故統計や平成17年以降の交通事故特性に関する小冊子「とよたの交通事故」を作成しました。

カ 豊田市通学路交通安全プログラム対策箇所データ整備業務(受託事業 豊田市)

通学路整備推進会議で要望された箇所について、GISを利用して整理しました。

- キ (仮) 歩行者安全対策必要路線図説明資料作成業務 (受託事業 豊田市)  
過年度作成した「(仮) 歩行者安全対策必要路線図」にかかる説明資料を追加的に作成しました。
- ク 愛知県「三位一体」対策の提言の実現に向けた取組支援 (受託事業 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金)  
昨年度成果の「愛知県「三位一体」対策の提言」を活用できる関係機関への周知・各種調整を実施し、信号サイクル短縮実証の体制構築に向けた説明資料作成・各種調整を実施しました。
- ケ 新たな信号システム開発プロジェクト」の管理支援業務 (受託事業 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金)  
カメラ等の低コストセンサーを通じたデータ収集・解析を行う信号システムの開発及びセンサーデータを活用した最適化信号アルゴリズムの開発にかかる事務局業務を実施しました。
- コ 高齢者の交通安全対策グランドデザイン策定に向けた調査研究事業 (受託事業 愛知県警察本部)  
愛知県警察本部として初めての調査業務としてプロポーザル方式で受注し、有識者等による調査検討委員会を運営しながら、愛知県における高齢者の交通事故抑止に係るグランドデザインを策定しました。
- サ 「交通事故削減及び交通流円滑化に向けた信号サイクル長の最適化」の業務委託 (受託事業 一般財団法人トヨタ・モビリティ基金)  
有識者、公安委員会、道路管理者等との協働により信号サイクルの研究を行い、その実証を通じて信号サイクルの最適化を目指す委員会の運営支援を行って、次年度の社会実験を実施する予定の箇所選定を行いました。
- シ 歩行者交通安全対策検討補足資料作成業務 (受託事業 豊田市)  
歩行者の安全な通行空間の確保に向けた検討用基礎資料として、過年度作成した「歩行者交通安全対策検討基礎資料」に係る補足資料（ヒヤリ指摘傾向・車両急減速地点傾向）を作成しました。
- ス 自律分散型信号システム研究開発とりまとめ等支援業務 (受託事業 東京大学)  
東京大学生産研究所が一般財団法人トヨタ・トヨタモビリティ基金からの委託研究として実施している自律分散型信号システムの開発において、連絡調整・進捗状況のとりまとめ等を支援しました。
- セ 歩行者安全対策検討補足資料作成業務 (受託事業 豊田市)  
歩行者の安全な通行空間の確保に向けた検討用基礎資料として、小学校区別対策箇所図の作成等を行いました。

上記の自主研究事業、受託研究事業のほか、平成30年度では、国の科学研究費助成事業に採択された「高齢者のエイジングと安全な自動車運転の新しい関係に関する研究」について、研究代表者として関連する研究活動を行いました。

また、公益財団法人住友財団の「環境研究助成」を受けた「超小型電気自動車によるCO<sub>2</sub>削減効果の実践的検証と導入のあり方に関する検討」を研究代表者と研究分担者とし

て実施したほか、公益財団法人タカタ財団の「研究助成」を受けて「空間認知特性に着眼した高齢運転者が加害者となる出会い頭事故対策に関する応用的研究」を研究代表者と研究分担者として実施しました。さらに、公益財団法人三井住友海上福祉財団の「研究助成」（交通安全等部門）を受けて、それぞれ「高齢運転者を対象とした後付け型の警報による運転支援システムの効果及び普及方策の検討」と「自転車の通行空間整備過渡期における都市・道路政策のあり方に関する研究」について、研究代表者と研究分担者として実施しました。

## 2 報告会・セミナー

### (1) 空間計画と持続可能な開発（SPSD）に関する国際ワークショップ（主催）

日 時：平成30年5月25日（金）、26日（土）

場 所：豊田産業文化センター 会議室A、B

内 容：基調講演1 「Present Situation & Future Prospect of Transportation Development in China: Strategy and Policy」

Huapu Lu（中国 清華大学教授）

基調講演2 「Vehicle Transport System by Sharing, Electrification and Automatization」

山本俊行（名古屋大学教授）

基調講演3 「Identifying the Effective Paths of Crowded Traffic Network Based on Reverse Depth-first Search Algorithm」

Jianxu Zhang（中国 重慶交通大学准教授）

研究発表、テクニカルツアー等

参加者：31名

### (2) 太田勝敏所長退任記念講演会（主催）

日 時：平成30年5月25日（金）

場 所：豊田産業文化センター 小ホール

内 容：退任記念講演「自動運転時代の都市と交通まちづくり」

参加者：111名（聴講者）

### (3) 研究成果報告会（主催）

日 時：平成30年7月4日（水）

場 所：豊田産業文化センター 小ホール

内 容：特別講演 「交通まちづくり～暮らしやすいまちをめざして～」

原田昇（豊田都市交通研究所所長）

概要報告 安藤良輔（研究部部長）

成果報告 三村泰広（主席研究員）

加藤秀樹（主席研究員）

西堀泰英（主席研究員）

コメンテーター 野田宏治（豊田工業高等専門学校 教授）

中村文彦（横浜国立大学大学院 教授）

藤田素弘（名古屋工業大学大学院 教授）

参加者：86名（聴講者）

### (4) 第13回日本モビリティ・マネジメント会議（共催）

日 時：平成30年7月27日（金）、28日（金）

場 所：名鉄トヨタホテル

内 容：開催地企画、オープニングセッション、ポスター発表、口頭発表等

(5) 平成30年度市長報告会（政策提言）

日 時：平成30年7月30日（月）

場 所：豊田市役所 南53会議室

内 容：提言1「高齢者の交通安全を念頭に置いたADAS普及促進策」

三村泰広（主席研究員）

提言2「横断歩道での歩行者保護意識向上を目指した取組み提案」

山崎基浩（研究部次長）

(6) 豊田まちと交通勉強会（まちべん）

回 数：11回

場 所：豊田都市交通研究所

内 容：成果発表 当研究所所長、研究員10人

参加者：延べ216名

3 論文発表、著作、講演等

(1) 論文

|             | 国際論文<br>(査読付き) | 国際論文<br>(概要査読) | 国内論文<br>(査読付き) | 国内論文<br>(査読なし) |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 暮らしを支える交通   | 3編             | 3編             | 3編             | 14編            |
| 都市空間を創出する交通 | 2編             | 4編             | 1編             | 5編             |
| 交通の安全・安心    | 4編             |                | 3編             | 1編             |
| 合 計         | 9編             | 7編             | 7編             | 20編            |

上記国際論文(査読付き)のうち、一編の論文が発表した国際会議の優秀論文賞(Excellent paper)を受賞しました。

(2) 著作・資料寄稿

2冊

(3) 講演

34回

4 資料発行

(1) 機関紙「まちと交通」

ア 63号（平成30年 5月）特集：歩行者保護運転の徹底を目指して

イ 64号（平成30年 8月）特集：タクシーを利用した外出支援策の可能性

ウ 65号（平成30年11月）特集：高齢運転者の無信号交差点における安全不確認  
と出会い頭事故の関連性分析

エ 66号（平成31年 2月）特集：多様なデータを活かして豊田市都心の現状を考える

(2)「豊田都市交通研究所年報 平成30年度版(平成29年度実績)」(平成30年6月)

(3)「平成30年度研究成果報告会開催記録」(平成30年8月)

(4)「太田勝敏所長退任記念講演会講演録」(平成31年2月)

## 5 研究企画委員会

| 回 | 年月日       | 主 な 議 題  |
|---|-----------|--|
| 1 | H30.4.24  | 1 新任委員の紹介と挨拶<br>2 研究企画委員の留任について<br>3 平成30年度研究テーマについて<br>4 太田所長の退任記念講演会と併催する国際ワークショップの案内<br>5 太田所長の挨拶 |
| 2 | H30.6.26  | 1 平成30年度研究テーマについて<br>2 原田昇新所長の挨拶   |
| 3 | H30.9.3   | 1 平成30年度研究テーマについて  |
| 4 | H30.12.19 | 1 平成31年度研究企画案について  |
| 5 | H31.2.19  | 1 平成30年度研究テーマについて<br>2 退職予定者の挨拶  |

《 法人運営 》

1 理事会

| 回  | 年月日       | 内 容   |
|----|-----------|---|
| 35 | H30.5.18  | <p>議案第 1 号 給与規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第 2 号 役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第 3 号 理事の候補者の選出について（決議事項）</p> <p>議案第 4 号 監事の候補者の選出について（決議事項）</p> <p>議案第 5 号 評議員の候補者の選出について（決議事項）</p> <p>議案第 6 号 研究企画委員会の委員の選任について（決議事項）</p> <p>議案第 7 号 所長の選任について（承認事項）</p> <p>議案第 8 号 平成29年度事業報告及び決算報告について（承認事項）</p> <p>報告第 1 号 平成29年度基本財産等の運用状況について（報告事項）</p> <p>報告第 2 号 平成29年度理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況について（報告事項）</p> |
| 36 | H30.6.5   | 代表理事（理事長、副理事長、専務理事）の選定について  |
| 37 | H30.11.19 | <p>議案第 9 号 個人情報保護規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第10号 特定個人情報保護規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第11号 情報公開規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第12号 平成30年度収支予算（損益）の補正について（承認事項）</p> <p>報告第 3 号 平成30年度理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況について（報告事項）</p> <p>報告第 4 号 平成30年度事業の執行状況について（報告事項）</p>   |
| 38 | H30.12.26 | 給与規則及び特定業務職員就業規則の一部改正について   |
| 39 | H31.3.27  | <p>議案第13号 給与規則等の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第14号 特定業務職員就業規則の一部改正について（決議事項）</p> <p>議案第15号 研究企画委員会の委員の選任について（決議事項）</p> <p>議案第16号 評議員の候補者の選出について（決議事項）</p> <p>議案第17号 理事の候補者の選出について（決議事項）</p> <p>議案第18号 第18回臨時評議員会の決議の省略の方法について（決議事項）</p>   |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | 議案第19号 第19回定時評議員会の招集について（決議事項）         |
|  |  | 議案第20号 平成30年度収支予算（損益）の補正について（承認事項）     |
|  |  | 議案第21号 平成31年度事業計画及び収支予算（損益）について（承認事項）  |
|  |  | 議案第22号 特定資産「交通まちづくり支援資金」の取崩しについて（決議事項） |
|  |  | 報告第5号 平成30年度研究成果について                   |

## 2 監事会

| 回 | 年月日      | 内容      |
|---|----------|---------|
| 9 | H30.5.10 | 業務・会計監査 |

## 3 評議員会

| 回  | 年月日      | 内容   |
|----|----------|--|
| 16 | H30.4.13 | 評議員の選任について   |
| 17 | H30.6.5  | 議案第1号 役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について（決議事項）<br>議案第2号 理事の選任について（決議事項）<br>議案第3号 監事の選任について（決議事項）<br>議案第4号 評議員の選任について（決議事項）<br>議案第5号 平成29年度事業報告及び決算について（承認事項）<br>報告第1号 平成29年度基本財産等の運用状況について<br>報告第2号 平成30年度事業計画及び収支予算（損益）について<br>報告第3号 特定資産「交通まちづくり支援資金」の取崩しについて<br>報告第4号 研究企画委員会の委員の選任について<br>報告第5号 所長の選任について |

### 《 附属明細書 》

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。